

淀川左岸線延伸部の早期実現にかかる要望

関西経済連合会
大阪商工会議所
大 阪 府
大 阪 市

淀川左岸線延伸部は、国土軸である新名神・名神高速と国際拠点空港である関西国際空港、国際コンテナ戦略港湾である阪神港等の重要拠点を結ぶ、広域的なネットワークを形成する重要な路線です。

我が国の成長をけん引する三大都市圏においては、高速道路ネットワーク強化のための環状道路整備を強力に進めており、首都圏、中部圏では、既に平成32年度までに概成する目途が立っています。

一方、関西圏では、淀川左岸線延伸部が具体化されておらず、ミッシングリンクの整備が急がれるところです。

このような状況から、大阪府市においても、国の協力を得て、早期の都市計画決定に向けて手続きを進めています。

今後も、本路線が早期に実現できるよう地元の官民が一体となって推し進める所存です。

つきましては、東西二極の一翼を担う大阪・関西の国際競争力を強化し、強靱な国土づくりを推進するためには、管理主体を超えたシームレスな料金体系の実現とともに、ミッシングリンクの解消が必要であり、本路線の早期実現に向け、国が主体となって取り組み、必要な財源を確保していただきますよう強く要望いたします。

2015年2月12日

関西経済連合会会長

森 詳介

大阪商工会議所会頭

佐藤 茂雄

大阪府知事

松井 一郎

大阪市長

橋下 徹